

令和7年度 全国保健師長会活動方針

本格的な少子高齢化・人口減少社会に突入し、単身世帯の増加や新型コロナウイルス感染症を契機とした地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化により、国民が抱える健康課題は多様化・複雑化しております。

そのような中、私たち保健師は、コロナ禍で積極的に行えなかった地域における保健活動を取り戻すべく、地域に出向き、より実効性を持つ取組を模索しながら活動を推進するとともに、健康危機に備えた平時からの健康危機管理体制の整備に取り組んでいるところです。

これからの公衆衛生看護活動においては、地域住民のヘルスリテラシーを高め、住民自らが健康を維持できる活動への支援やヘルスプロモーションの理念に基づいた健康づくり、地域の潜在化した問題を顕在化させ多職種連携による支援、つながり・支え合いなどを重視しながら、未来につながる健康なまちづくりを創造し、展開していく必要があります。

また、中堅期保健師の不足と統括保健師の育成及びサポート体制の構築等は喫緊の課題であり、生産年齢人口の減少により保健師確保もさらに困難になることが予測されることから、OJT やジョブローテーションのほか、保健師確保についても、これまでのやり方を転換させるべき時代が到来しています。地域で活躍する専門職が増える中において、保健師としてのアイデンティティの獲得、公衆衛生看護技術の段階的な獲得や、共に育ちあえる職場風土づくりなどとともに、暗黙知を形式知化し、定着させるための現任教育の充実及び保健師の役割・魅力発信が不可欠です。

これらの課題に対して、全国保健師長会では、会員相互のネットワークを重要視しながら、時代の要請に応える保健師活動を追及し、保健師の未来を見据えた、効果的な保健師の人材育成とそれを支える体制の強化、地域に責任を持ち健康格差の解消を目指した保健師活動の推進などを図って参ります。

令和7年度全国保健師長会活動テーマ

未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開
～予防活動の実践、そして地域に根づく保健師活動の継承～

令和7年度の活動方針

- 1 地域保健活動の推進にかかるマネジメント機能の発揮に向けた取組みの推進
 - ・地域ケアシステムの構築や健康課題の改善に向けた組織内外の関係者や関係機関の総合調整など、効果的、効率的な活動を実践し、発信する
 - ・健康危機管理における平時からの体制強化に向けた活動に取り組む
- 2 地域診断と科学的根拠に基づく公衆衛生看護活動及び人材育成の推進
 - ・各自治体の公衆衛生看護活動の推進や体系的な人材育成を実践するため、統括保健師の配置を促進するとともにその成果を明確化し、統括保健師の役割発揮を推進する
 - ・地区特性や科学的根拠に基づく、地区活動に立脚した効果的な公衆衛生看護活動を発信する
 - ・保健師のコアバリュー・コアコンピテンシーを活用し、現任教育の充実に向けた取組みを推進する
- 3 自治体間のネットワークの構築やブロック、支部における効果的な活動の推進
 - ・効果的な公衆衛生看護活動や人材育成等に関する情報交換・研修等の主体的活動を推進する
- 4 地域の公衆衛生看護活動の推進に向けた会からの情報発信の促進
 - ・会員が地域の全体像、時代を見据えたビジョンを構築するために必要な各種情報を発信する